

令和4年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	15	学校名	桜井高等学校
----	----	-----	--------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	「つくる つなげる とどける」地域の方々から学ぶ ～子育て支援「つどいの広場・ドレミの広場」～
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	普通科3年生選択科目「子どもの発達と保育」（選択者18名）における実習授業として実施。子どもや保護者との交流を通して、子育ての楽しさ、生命や家族の大切さについて理解を深める。
連携・協働相手	桜井市福祉保健部けんこう増進課
地域と共有している目標・課題等	子どもや保護者との交流を通して、子育ての楽しさ、生命や家族の大切さについて理解を深める。
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
保育士・幼稚園教諭を目指す高校生が、桜井市が主催する子育て支援事業「つどいの広場・ドレミの広場」に参加し、事前に制作した手袋シアターや手遊びを子どもたちと一緒に楽しみ、将来への展望や今後の課題を見つけた。	

2. 事業の成果と課題

地域の方々との交流は、高校生にとって大変貴重な経験であり、授業等で学校の教員が指導することで、生徒の知識や技術の定着を促すことに加えて、社会性・自主性の育成に大変効果があった。今年度もコロナ禍の中であったが、連携・協働相手と何度も協議を重ねて、生徒にも地域の方にも安全な方法を取りながら実施した。残念ながら今年度は、新型コロナウイルス感染拡大のため、予定していた期間での実施は中止となり、7月14日（木）のみの実施となったが、来年度以降は実施回数を増やし、「地域の活性化」と「生徒の学び促進」の相乗効果を得られるよう取組を進めていきたい。

【生徒の感想】

- 子どもたちは、とてもかわいかった。こちらが、癒やしてもらった。
- つどいの広場は、子どもたちの交流の場でもあるけど、保護者の情報交換や相談場所になっていると思った。自分の住んでいるところにもこういう場所があると聞いたので、調べてみたいと思った。
- 私たちの絵本の読み聞かせをあんなに集中して聞いてくれたことにびっくりしました。

